

アル・アクサ洪水第676日目：ガザでイスラエルの「火の帯」が広範に展開される中、5人が餓死し、8人家族が殺害された。

Palestine Chronicle、2025年8月11日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



パレスチナ人ジャーナリスト、アナス・アッシャリフとモハンマド・クレイカが、ガザでのイスラエルの爆撃により殺害された。(Photo: via social media)

主要事項

*10日、パレスチナ人ジャーナリストのアナス・アッシャリフとモハンマド・クレイカが、ガザ市のアッシーファ病院近くにあった彼らのテントがイスラエル軍に攻撃されて、死亡した。

*国連高官は、イスラエルのガザ封鎖の継続で全面的飢餓となったと述べた。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からイスラエルの攻撃による死者は61,499人で、負傷者は153,575人である。その多くは女性と子どもである。

最新情報

8月11日 11:58 pm (パレスチナ時間)

*英国中東担当国務大臣：アル・ジャジーラの記者5人の殺害を含め、ガザでジャーナリストが標的にされて殺害されているのは、極めて憂慮すべきである。ガザで取材活動をやるジャーナリストは最前線で命がけである。イスラエルはジャーナリストの安全を確保しなければならない。

*アル・ジャジーラ：フランスの大統領顧問はアル・ジャジーラに対して、次のようにのべた。「我々はガザでジャーナリストの殺害を非難し、イスラエルにジャーナリストが自由に安全に活動できるように国境を開けと要望する。ジャーナリストの命は保護されるべきで、我々は実際に起きたことを非難する。」

*ガザ市役所：イスラエルのガザ市占領計画は地域と世界の平和と安定への挑戦である。我々は国連、国際司法裁判所、すべての国々にガザ侵攻を止める行動に立ち上がることを求める。民間人の保護、家屋やインフラ破壊の停止、すべての国境クロッシングの即時開放を求める。

*アル・ジャジーラ：EUのカヤ・カラス外務政策上級代表は、「イスラエルのガザ市への空爆で5人のアル・ジャジーラ記者が死亡したことを非難する」と言った。

8月11日 10:25 pm

*アル・カッサム旅団声明：今日、アル・カッサム旅団は、ガザでイスラエル軍に対していくつかの攻撃を行ったと3回の声明を発表した。イスラエル軍の軍事拠点2か所へ砲撃し、2人のイスラエル兵を狙撃した。今晚の声明では、ガザ市アットファーフ地区東部でグール狙撃銃¹でイスラエル兵2人を殺害した。

8月11日 10:22 pm

*スウェーデン外務相声明：スウェーデンのマリア・マルマー・ステネルガルド外相は、ガザの状況が依然として破局的であると述べ、EUのイスラエルとのパートナーシップ協定の貿易部分の一時停止を求めた。

8月11日 10:21 pm

*スペイン外務相声明：スペインのホセ・マヌエル・アルバレス外相は、EUはスペインの主張に従ってパレスチナ国承認に踏み切るべき時だと言った。また、彼は、イスラエルがガザで新たに始めた攻撃の波を止めるようにEUとして行動を起こすべきだと述べ、「イスラエルの軍事占領と飢餓戦略のエスカレートを目撃しながら何もしないわけには行かない」と言った。

8月11日 10:19 pm

*イスラエル・ハヨム紙：元参謀総長のガディ・アイゼンコットは、自分が戦争内閣に加わったとき、人質返還は戦争目的になってなかったと言った。

8月11日 10:17 pm

*アラビア語メディア：国連事務総長の報道官はアル・ジャジーラに対して、ガザ戦争は現代史で最も残酷なものだと言った。彼は、事務総長がアル・ジャジーラ記者が殺害されたことを非難する声明を発表したと述べ、イスラエル政府は外国人記者のガザ入りを許可していないと言った。彼は、ジャーナリストを殺害標的にするべきでなく、外国の報道機関のガザでの自由に活動が許可されるべきだと言った。責任を取らせるべきだが、残念ながら時間がかかるであろう、しかし、必ず責任を取らせると、言った。

8月11日 8:04 pm

*アル・ジャジーラ：フランスの外相は、唯一の道は、恒久的停戦、人質解放、民間人保護、援助物資の大量ガザ搬入であると主張した。彼は、イスラエルがガザ市とアル・マワシ地区で改めて軍事作戦を拡大しているのは破局的で、ますます多くの民間人死者を生み出すと付言した。

8月11日 8:02 pm

*パレスチナ・メディア：アル・アクサ殉教者病院によれば、デイル・アル・バラフ市の南部と東部へのイスラエル軍の空爆で、4人のパレスチナ人が死亡した。

8月11日 8:01 pm

*チャンネル12：明日数百人のイスラエル空軍パイロットが、ガザ市占領決定に抗議して、参謀総長本部前で抗議運動する予定である。

8月11日 8:00 pm

*イスラエル・メディア：元シン・ベト長官のヨラム・コーヘンは、捕虜交換はもっと前に合意できていたはずだと述べ、それがいまだに実現していないのはネタニヤフ首相の責任だと非難した。

8月11日 6:20 pm

¹ パレスチナ製の狙撃用ライフルで、ハマスの戦士アドナン・アル・グールの名が付けられた。

*イスラエル・メディア：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は、軍の参謀総長も軍法務総監も決定権は政治レベルにあることを理解してもいい頃だと言った。

*アムネスティ・インターナショナル：ガザ市のメディア関係者のテントを意図的に空爆してジャーナリストを殺害したイスラエルを、我々は厳しく非難する。殺害されたアナス・アッシャリフ等はガザの目であり声として、飢えと疲労にもかかわらず勇敢に報道をしていた。

*イスラエル・ハヨム紙：ノルウェーの政府系ファンドがガザ戦争のためイスラエルへの投資を停止すると発表した。

*イタリア・メディア：イタリアのグイド・クロゼット国防相はラ・スタンプ紙に対し、イスラエル政府はガザに対して正気と人間性を失っており、現在ガザで起きているのは意図しない破滅を伴った軍事行動ではなく、法と文明の価値観の否定である。

*アル・ジャジーラ：中国外務省は次のようにのべた。「我々はガザで悲劇的な死を迎えた報道記者を悼む。我々は民間人に危害を加える行動や記者を攻撃することに反対する。イスラエルはガザにおける軍事行動をすぐにやめ、人道支援を認めるべきだ。」

*UNRWA：UNRWA 事務局長は、「パレスチナ人ジャーナリストの英雄的な報道活動を支援するために、国際ジャーナリストのガザ入りを認めるべきだ。イスラエル軍はガザの残虐行為を報道する声と目を封じ込め続けている」と語った。

*アル・ジャジーラ：英国首相の報道官は、アナス・アッシャリフ記者等の殺害に関して独立調査を求め、イスラエルはジャーナリストが安全に恐怖を覚えないように活動することを保障しなければならないと述べた。

8月11日 3:42 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエルとパレスチナの外国記者協会は、「我々はイスラエルがガザ回廊でパレスチナ人ジャーナリストを攻撃していることに激しい憤りを覚える。イスラエル軍は、何の証拠もあげずにジャーナリストに過激派というレッテルを貼り続けている。我々はイスラエルにガザでジャーナリスト攻撃をやめるよう要求する」と言った。

*イラク・メディア：イラク通信社は、イラクの国家安全保障顧問のカセム・アル・アラジがイランの国家安全保障会議の最高議長のアリ・ラリジャニーと、ガザ回廊におけるパレスチナ人殺害と飢餓というイスラエルの犯罪行為について協議したと報じた。

*アル・ジャジーラ：表現の自由に関する国連特別報告者はアル・ジャジーラに対し、「イスラエルはガザで起きていることを世界から隠そうとしている。イスラエル軍は民間人を殺害し、飢え死にさせており、軍としての信頼を失墜している」と語った。

8月11日 3:26 pm

*パレスチナ・クロニクル：欧州サッカー連盟（UEFA）は、8月8日に、「パレスチナのペレ」という異名を持つサッカー界のレジェンドのスレイマン・アル・オベイドへの追悼メッセージをネットに発表した²。誰がどのように彼を殺害したかについては全然言及しなかった²。英国リバプールのスター選手で、サッカー界の有名人であるエジプト出身のモハメド・サラ選手もそれに気づいたようで、「パレスチナのペレを殺したのは誰だ」と反応した。

8月11日 1:33 pm

*ドイツ外務省：ガザで6人のジャーナリストを意図的に殺害したのは、深刻で憂慮すべき事件である。我々はガザでジャーナリストを攻撃することを厳しく非難し、この事件を徹底的に透明性のある形で調査する必要を強く要請する。その実行犯に責任を取らせることを要望する。

8月11日 1:24 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ市のアッラバビディ通りの避難民テントへのイスラエル軍の空爆で、3人が死亡した。同時に、ガザ市南東部のアル・ザイトゥーン地区へのファイア・ベルト的爆撃を行い、数人（ほとんどが子ども）が負傷した。他にも、ガザ市東部にも爆撃した。これは、ガザ市占領計画の一環としての行動である。

8月11日 1:09 pm

*ガザ保健省：この24時間の間に飢えで死亡したのは、子ども1人を含む5人である。

² 8月6日、オベイドは他の民間人といっしょに人道支援物資の配給を待っているときに、イスラエル軍の発砲で死亡した。

*パレスチナ・メディア：アル・クッズ病院の報告によれば、ガザ市のアル・ザイトゥーン地区へのイスラエル軍の攻撃で、7人のパレスチナ人が死亡し、41人—そのほとんどは子ども—が負傷した。

*アル・ジャジーラ：ガザのパレスチナ人たちは、アル・ジャジーラの特派員アナス・アッシャリフ、モハンマド・クレイカ、カメラマンのイブラヒム・ザヒルとモハンマド・ヌーフアルなど、イスラエル軍に殺害された6人のジャーナリストのための葬式を行った。

*ガザ政府メディア・オフィス：昨日イスラエル占領軍によって殺害された2人のジャーナリストを含め、ジャーナリストの死者は238人となった。我々は、イスラエル軍が意図的・組織的にパレスチナ人ジャーナリストを標的に殺害していることを非難する。我々は国際社会にこのイスラエルの犯罪を非難し、阻止し、殺害者を国際裁判所で裁くことを要求する。

*UNRWA：ガザの子どもたちは爆撃と飢えで死亡している。そして、家族、地域、一世代全体が消滅へ追いやられている。この事態に対して沈黙し何の行動もしないのは共犯である。単なる非難声明から具体的行動へ移るべき時だ。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍報道官は、ガザ回廊北部でイスラエル兵が狙撃されて負傷したと発表した。

8月11日 9:24am

*アル・ジャジーラ：ノルウェー外務大臣は、ガザでアル・ジャジーラ記者たちを殺害したのは無法行為でまったく容認できないと語った。

*アル・ジャジーラ（ジャーナリスト保護委員会の中東地区代表の発言）：イスラエルは信頼できる証拠も示さずに、一貫してジャーナリストをテロリストと決めつけている。これは、イスラエルの意図と報道の自由の尊重に対する姿勢に疑問を持たざるを得ない。報道記者は民間人であり、攻撃対象にするべきではない。我々は殺害者の責任追及を求める。

*パレスチナ・メディア：地元情報によれば、ガザ回廊中部のヌセイラト難民キャンプの北で、人道物資を求める人の群れをイスラエル軍が砲撃と銃撃で攻撃した。

*パレスチナ・メディア：今朝、西岸地区のナブルス東のバラータ難民キャンプをイスラエル占領軍が急襲し、乱暴行為と家宅捜索を行った。

*アル・ジャジーラ：ジャーナリスト保護委員会は、アル・ジャジーラ記者のアナス・アッシャリフとモハンマド・クレイカとカメラマンを、ガザ市の彼らのテントを攻撃して殺害したことに、ショックを受けたと表明した。

8月11日 2:18am

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省の最高責任者はアル・ジャジーラに対し、殺害された二人のジャーナリストは現地のイスラエル軍の残虐行為を映し出す「ガザの目」だったと語った。さらに、アッシャリフが生きているとき、常にイスラエル軍から狙われていると自分に話したことがあると付言した。

*パレスチナメディア：アッシーファ病院の院長は、標的とされたテントがジャーナリストのものだと確認し、イスラエルが虐殺の現実を隠蔽しようとしていると非難し、メディアの声がなければガザの住民が黙って死んでいく可能性があるかと警告した。

8月11日 12:17am

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の院長は、パレスチナ人ジャーナリストのアナス・アッシャリフとモハンマド・クレイカが、彼らのテントがイスラエル軍に攻撃されて、死亡したと報告した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍は、ガザ市のアッシーファ病院の正面入り口を砲撃した。

*イスラエル・メディア：最高裁判所は、政府の検事総長解任決定を、これに反対する訴訟が提起されるまで、凍結にした。